賢く選べ！
とれる品種・売れる品種

キュウリ・ピーマン・ナス　編

多収性？耐病性？それとも買い手の需要？
スーパー読者の「用途別」品種選び

品種名を表に出して販売するスーパーやレストランが増えている。今や品種はマーケットサイドまでもが意識する、一つの「価値」となった。読者に今年選んだ品種とその理由を聞き、カタログでは得られない「ナマの声」をまとめた。品種選びの参考にして欲しい。

※□内の説明はメーカーが紹介している情報などです。なお、産地や作型等の違いにより、読者のコメントには差があります。

取材・文／依田憲枝

キュウリ

食味の良さ、耐病性、省力化など、生産者の目的によって選ぶ品種も多様。イボなしなど特徴のある品種を作っても価格優位になりにくい、特に冬場の経営が難しいといった声も聞かれた。

オーシャン　埼玉原種育成会

果肉がしまり食感良好。秀品多収で、各種病害に強い。

●抑制栽培。果皮が柔らかく、シーズン通して食味が良い。ただし、褐斑病、ベト病、ウドンコ病に弱く、害虫にも弱い。（斎藤氏）

●コンスタントに収量がとれる。樹勢が落ちないので病気の問題も少なく、省力化に適している。果形は真っすぐできれい。（坂元氏）

ハイ・グリーン21　埼玉原種育成会

歯切れ良く甘み・風味を備える。低温や乾燥に強く生育旺盛。

●促成栽培。果皮が柔らかく、果肉がしまって食べてうまいと思う品種を選ぶ。生育は旺盛ではないが、食味が良く、色ツヤ、形も良い。ただしウドンコ病や褐斑病に弱く、害虫の問題もある。耐病性や収量を追求すると、果皮が硬くなるなど食味が落ちたり、収量が多いと曲がりが発生しやすい傾向がある。（斎藤氏）

シャープ1　埼玉原種育成会

高温期でも色ぼけが出ない。食感は歯切れが良く、おいしい。

●夏場近くになるとテリがなくなる傾向があった。色ツヤが落ちると人気がなくなるので、「ハイ・グリーン21」に切り替えました。（斎藤氏）

●果形が悪く、食味もあまり良くないので作るのをやめました。（坂元氏）

●「皮が硬い」と言われたので、作るのをやめました。（M氏）

エクセレント節成2号　埼玉原種育成会

省力で多収。高品質で秀品率が良い。褐斑病にも強い。

●抑制栽培。色ツヤ、食味が良い。多収だが樹勢が落ちるため褐斑病に弱い。減農薬栽培なのでマルチングで病気を予防。昨年までは促成もこの品種でしたが、省力化のため今年から「むげん」に変更。1果成りで一時期にドカ成りせず、平均的に安定した収量がとれること、果形が良い点から選びました。（坂元氏）

※むげん（ときわ研究場）つる下げ栽培に最適の1果成り。果形安定。

アンコール10　ときわ研究場

見栄えが良い。初期収量が非常に多く、最後まで秀品多収。

●夏秋キュウリ。他の作目との兼ね合いで収穫期間を1ヶ月にしているので、初期収量の良い品種を選んでいます。これは短期間でも収量はまずまずで、食味も良いのでは。色ツヤはいまひとつ。（神森氏）

はるか　ときわ研究場

受光体制が良く、悪条件でも病気に強い。省力栽培向き。

●冬春キュウリ。収穫が短期間なので、あまり手間がかからないのが良い。収量もまあまあ。（神森氏）

ステータス夏Ⅲ　久留米原種育成会

各種病害に強く、褐斑病には特に強い。初期より多収。

●ここ数年、褐斑病の被害が深刻で、病気に強い久留米原種に移行。周りも同じ動き。メーカーのおすすめ品種で今年初めて作った。7月播種は栽培が難しいが、まずまずの成績だったので来年も作ろうと思う。ただし食味は埼玉原種の方が良い。秋に作る「フレスコ100」は収量が良いと聞いています。（重元氏）

※フレスコ100（久留米原種育成会）小葉で省力型節成性品種。超多収。

久留米の輝き　久留米原種育成会

長期にわたり安定した果形で、秀品率が良い。安定多収。

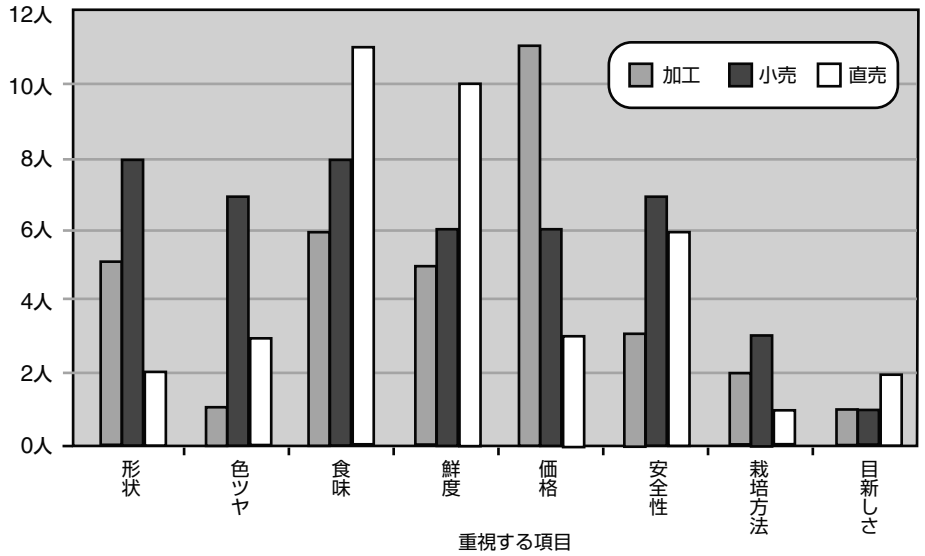
●夏秋キュウリ。病気には強いが、食味は埼玉原種に比べると物足りない。（重元氏）

アルファー節成　久留米原種育成会

土地、人を選ばない。果実肥大が早く、初期より超多収。

●冬春キュウリ。天候が良ければ節ごとになるが、曇りが多いと成りが落ちる。それでもトータルの収量は良いし、食味も良い方だと思う。施肥のタイミングが遅れると、曲がりができてしまう。台木を同メーカーの雲竜シリーズに変えてから、ウドンコ病が減りました。（M氏）

生産者が感じる需要者の要望の違い



◎加工は価格重視　直売は多少高くても味の良いもの

読者を対象に「市場はどんなキュウリを求めていると思いますか？」（複数回答可）というアンケート調査を行った。中には全ての分類で「価格」と「形状」だけを選ぶ回答もあったが、回答者の多くが、それぞれの売り先に違いがあると見ているようだ。この結果から、加工・小売・直売それぞれが何を重視しているのかを生産者自身で分析し、売り先の好みに合った商品作りを心がけていることが分かった。

「キュウリ」のお話をうかがった読者



①氏名
②住所
③栽培面積
④その他の栽培作物

①斎藤保行
②福島県福島市
③キュウリ29a
④水稲、ホウレンソウ、京菜

①神森義一
②神奈川県海老名市
③キュウリ8.2a
④水稲、トマト　その他

①（有）重元園芸　重元茂
②熊本県宇土市
③キュウリ50a
④サラダタマネギ、スナップエンドウ

①坂本芳郎
②宮崎県東諸県郡綾町
③キュウリ75a
④日向夏、キンカン

①匿名（文中ではM）
②千葉県
③キュウリ10a
④水稲、トマト

ピーマン

ウイルス抵抗性と多収がポイント。単価高の1～5月に収量が確保できるよう、少日照下でも生育が良い品種を選ぶ生産者も。パプリカは病気や害虫に弱く、作りにくいのがネックのようだ。

京鈴　タキイ種苗

ペッパーマイルドモトルウイルスに耐病性。秀品率が高い。

●収量が良いと聞いて作ったが、期待したほどではなかった。ウドンコ病など病気に弱く作りづらい。木が軟らかいため、適当な時期に収穫しないと枝が折れてしまう。（高橋氏）

●暖かくなると斑点病が果実に発生し、出荷できない状態に。収量は上がったが、病気で秀品率は落ちたので、作るのをやめました。（長友氏）

京ゆたか　タキイ種苗

低温少日照下でも着果と肥大性に優れ、多収性に富む。

●肉厚で形は良いが、ウイルス抵抗性が弱く、作りにくかったのでやめました。（長友氏）

ニューエース　タキイ種苗

果肉の厚さは中程度、辛味なく良質。成り休みが少なく豊産。

●収量は良かったが、色ぬけしたり、形がいまひとつだった。タバコモザイクウイルスにすぐかかってしまうので作るのをやめました。（高橋氏）

みおぎ　日本園芸生産研究所

TMV―タバコ系、トマト系及びトウガラシ系に抵抗性。肥大性が特に良く多収。

●子供でも食べやすいピーマンづくりを目指しています。サイズは大きいまま肉薄にすることでピーマン特有の青くささや苦みを抑え、給食センターや産直でも「食べやすい」と好評です。ただ、レストランのシェフからは「あっさりしすぎ」との声も。樹勢が強く、日照時間が短くても2節、3節の肥大が良い。着果率の低さは栽培技術で補います。アザミウマ（スリップス）やハスモンヨトウ、アブラムシ、ハダニといった害虫対策は、あるタイミングで天敵を導入、防除しています。（池田氏）

●ウイルス抵抗性あり。濃緑色で形はやや長めで、色・形が良い。肥大が早くふくらむものの、成りが少なく収量はあまり良くない。（高橋氏）

土佐ひかりD　南国育種研究農場

耐病性のある多収性の品種。

●シワが多く、果形はいまひとつ。秀品率が悪かったので作るのをやめました。（長友氏）

ニュー土佐ひかり　南国育種研究農場

安定多収を目標にした品種。果形のまとまり良く秀品率高い。

●重さはあるものの、ふくらまず大きくならないので作るのをやめました。（高橋氏）

01（ゼロイチ）　田山地種苗店

トウガラシ系TMV耐病性。収量の波が小さく安定的。

●今年から栽培を始めた品種。「京鈴」の耐病性が弱かったので、他の生産者や試験場の比較試験の結果から、この品種を選びました。収穫はこれからですが、今のところ耐病性はありそう。（長友氏）

パプリカ

スペシャル　エンザ

国内流通の赤色の代表的品種。売れ筋のMサイズがよく揃う。（販売／ベストクロップ）

●果実のひび割れが少なく劣化が少ない。取引先で大きさを作り分けていて、はじめは200～250gのLや2Lを、後半はMサイズを出荷。ただし収量はあまりとれず、回転率も悪い。どの品種もそうですが、疫病に弱く、太陽熱消毒で対応。スリップスの防除に天敵や農薬を導入し

「ピーマン」「パプリカ」のお話をうかがった読者

①氏名
②住所
③栽培面積
④その他の栽培作物

①高橋勝美
②茨城県鹿島郡波崎町
③ピーマン40～50a

①池田秀仁
②高知県土佐市
③ピーマン30a
④水稲、スモモ

①長友公一
②宮崎県西都市
③ピーマン30a

①榎本和夫
②宮崎県児湯郡高鍋町
③パプリカ60a

たが、効果がない。（榎本氏）

フィエスタ

エンザ

国内流通の黄色の代表的品種。多収性。樹勢が安定。（販売／ベストクロップ）

●収量がとれる品種。果肉は薄く、重さは150～200g。色も良い。（榎本氏）

ナザー

ディライターシード

ツヤのある鮮やかな赤色で甘い。日本人が好む中果品種。（販売／トミタテクノロジー）

●やや小ぶりで、スーパーで好まれるSサイズ（100～130g）。小さい分、単価は安いが、収量が良いので量でカバーできる。（榎本氏）

ナス

形の多彩さからわかるように、在来の地方品種が多い。ナスの良さは、煮る、焼く、揚げる、漬物など、いろいろな調理に向くこと。果皮の柔らかさがおいしさのポイントのようだ。

式部

渡辺採種場

果形は長卵形。上物率が高く、色・光沢・日持ちが良い。

●組合で選んだ品種。色ツヤ・形ともに美しく、人に例えれば"美人"。見た目の良さが市場で評価され、単価は良い方だと思います。味は水ナスにはかなわないが、煮ても、焼いても、漬物にしてもおいしい。害虫対策が一番の悩み。（永嶋氏）

●そこそこのものにはなるが、食感の硬さがすぐにわかる。あまりおいしいと感じなかったので、作るのをやめました。（根岸氏）

筑陽

タキイ種苗

極早生・豊産種で、秀品率が高い。肉質は緻密できめ細かい。

●果実が大きいので、4～5本で袋詰めするとボリューム感がある。果皮が柔らかくておいしく、消費者にも認められています。収穫の前半は収量がやや少ないものの、トータルでは収量が良く、この品種に満足しています。長ナスを作るのは、夏場から10月上旬にかけて地元であまり出回らないので、差別化として生産。定期的に、販売先バイヤー、種苗店と生産者とで情報交換をし、品種選びの情報を収集しています。産直はリピーターがカギ。甘さ、柔らかさ、日持ちが大切です。（佐藤氏）

竜馬

タキイ種苗

長卵形種。越冬長期栽培でも果形が安定し、上物率が高い。

●節間がつまるので多収につながる。果皮は厚い。日長を必要としますが、日照時間が長い高知の気候に合っているのでしょう。肥料を多めに、温度設定を高めにする必要がある。高知の西南地区の促成栽培品種は、昔は「はやぶさ」が主流でしたか、収量の安定化などから、今は竜馬が約9割を占めています。（田村氏）

はやぶさ

サカタのタネ

果実は中長の短で、全期間で果ぞろい、光沢良く、多収。

●そこそこはとれるが、節間が広いので竜馬ほどではない。同じ調理法で竜馬と比べると、はやぶさの方が果皮が柔らかく、なすびらしい味がする。耐病性は竜馬よりも強いのではないか。（田村氏）

一富士

カネコ種苗

低温伸長性に優れ、初期多収型。果皮が柔らかく、浅漬加工や煮食に最適。

●果皮が薄くて果肉が柔らかく、とにかく食味が良い。食べた瞬間に食感の良さがわかる。そのためか、圃場にもよるが、高温になると若干ぼけが出る傾向がある。低温に強いが、芽の展開が早く、葉も旺盛なので、摘葉の手間が他よりかかる。収穫の最盛期に葉陰に隠れると、色に敏感に現れる。本来の黒紫色ではなく、赤くなりやすいので、商品価値が下がってしまう。（根岸氏）

「ナス」のお話をうかがった読者



①氏名
②住所
③栽培面積
④その他の栽培作物

①サングリーンさとう　佐藤剛
②宮城県栗原郡金成町
③ナス70a
④トマト、ハクサイ、キャベツ、ブロッコリー　その他

①永嶋正光
②千葉県山武郡九十九里町
③ナス40a
④水稲

①たむら農園　田村志朗
②高知県幡多郡大月町
③ナス25a

①根岸生産工房　根岸知弘
②埼玉県深谷市
③ナス30a
④キュウリ